

鈴鹿 10 座 基本情報シートについて

鈴鹿 10 座は、東近江市制 10 周年に当たり、鈴鹿の山々の素晴らしさと存在意義を多くのかたに知っていただくとともに、この山々によって育まれる豊かな森林資源や水資源を、財産として次世代に継承していきたいとの思いから、平成 27 年 9 月に選定したものです。

選定に当たっては、山岳遭難対策協議会知識経験者、警察、消防、地元、専門家等からなる 16 名の「鈴鹿 10 座プロジェクト委員会」で検討を重ね、「東近江らしさ」を備えている山を選考していただきました。

< 東近江らしさとは >

東近江市から登ることができる山であること

鈴鹿山脈の北部、中部、南部の異なる地質や植生などの特徴を表していること

歴史、文化など古くから人々の生活に関わりが深いこと

愛知川の源流となる御池川、茶屋川、神崎川、佐目子谷川、渋川それぞれの集水域の要となる山であること

は、現時点で登山のために十分な登山道・案内標識等の整備がされていなくても、今後整備することによって東近江市から登山が可能になる山も含めることとしました。

鈴鹿 10 座基本情報シートは、シートの右下に示す年月日時点での情報に基づいて、各山の概要を記載したものです。道標の有無や登山道の整備状況など、登山のための詳しい情報を網羅したものではありませんのでご注意ください。

また、鈴鹿 10 座を指定したことによって、各山への登山道が整備されたわけではありませんのでご注意ください。今後、市として自然環境の保全に配慮しながら少しずつ整備をしていきたいと考えていますが、山や登山道等の状況は、日々変化します。より詳しい最新の情報は、道の駅 奥永源寺溪流の里までおたずねください。

コースタイムや難易度は、季節や天候、ご本人の体力や技術によって大きく異なります。あくまで参考としてご覧ください。

駐車場は、整備された駐車場ではなく、登山の際に一般的に使用されている場所を掲載しています。市として駐車場の許可を得ている場所ではありませんので、駐車される際は関係者に迷惑のかからないように配慮願います。また、駐車に関するトラブルについては一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。